

就任のご挨拶

このたび、全国間税会総連合会の会長に就任いたしました迫本淳一でございます。

まずは、長年にわたり弊会の発展に多大なるご尽力を賜り、多くのご功績を遺されました故片岡直公前会長のご逝去に際し、改めて深い哀悼の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

前会長の遺志を受け継ぎ当会の円滑な運営と社会への貢献に、誠心誠意努めてまいり所存です。

さて、我が国経済は、緩やかな回復傾向にあるとされていますが、飲食料品やエネルギーの物価高に加え、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクもあり、回復に伴う生活実感の改善は妨げられています。

そうした中、先般行われた参議院議員選挙の結果を受け、国会運営の見通しは一層不透明となっており、今後の政局において混乱が生じることが懸念される状況にあります。今後は、与野党ともに党派を超えた協議により、優れた方策は積極的に採り入れ、迅速かつ間断なく有効な施策を実施していただくよう期待しております。

いずれにせよ、私ども間税会に関わりの深い消費税につきましては、令和元年10月から税率が10パーセントに引き上げられ、我が国の税体系の中で最も大きな税収をもたらす基幹税となり、人口の少子・高齢化に伴う福祉財源確保の必要性や財政健全化の観点などから、非常に重要な存在となっております。

また、制度面においては、軽減税率制度やインボイス制度も導入されるなど、消費税は新たな時代を迎えております。

そのため、消費税を中心として活動をしている私ども間税会の果たすべき役割も、益々、高まってきているものと考えておりますので、さらに組織を強化し、活発な事業活動を展開していくことが重要です。

間税会としましては、そうした点を念頭におきながら消費税を始めとする「税に関する周知・啓発活動」に加えて、関係者から高い評価を頂いております「世界の消費税」図柄刷込みクリアファイル等の配布活動や「税の標語」の募集活動などを積極的に展開することにより、組織の活性化と拡大に努めていくことが必要と考えますので、引き続き、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、「税の標語」の募集活動については、令和2年度は新型コロナの影響等により一時的に減少したものの、その後、順調に回復し、令和6年度は、令和元年度及び4年度に続き、3度目の50万点台の水準を達成しました。関係者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

全間連の会員数については、近年、新型コロナの影響等もあり、大幅な減少が続いた後、全間連創立50周年を迎えた一昨年は、減少幅が一旦改善されたものの、昨年及び本年4月1日現在の会員数については、再び大幅な減少が続き、厳しい状況となっております。

いずれにせよ、間税会の仲間を増やすための取組は、間税会の基盤を維持強化する上で必要不可欠な活動であり、退会防止策も含め、不断の努力を展開して頂きますよう、宜しく願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄、各局間連及び傘下間税会並びに業種団体の益々のご発展を祈念しております。

また、国税ご当局の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り致しますとともに、全間連及び傘下団体の運営につきまして、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、会長への就任のご挨拶とさせていただきます。